

欧州 2021 年自転車販売台数が過去最高を記録

欧州自転車産業連盟（CONEBI）は、このほど 2021 年の統計データを含む年次報告書を出稿するとともに、その概要について簡潔に公表した。

それによると「自転車と電動自転車の販売は成長し続け、記録的なレベルに達している」と、次のように伝えている。

2021 年の欧州全体の自転車産業は、自転車と電動自転車が生産だけでなく、販売台数でも記録的な増加を遂げ、成長曲線を継続している。

2021 年はコロナパンデミック 2 年目の年となり、消費者の需要は引き続き高水準にあり、持続可能で積極的なモビリティに対する政治的関心が、全体的に高まっている。その結果、2021 年の自転車及び電動自転車の販売台数は過去最高を記録し、2000 年に CONEBI が集計を開始して以来、初めて 2,200 万台を突破した。この成長は特に、販売台数 500 万台を突破した電動自転車の継続的かつ堅調な需要に牽引されている。

金額ベースでは、自転車及び電動自転車の総売上高は 197 億ユーロに達しており、前年の 2020 年と比較して 7.5% 増となっている。

CONEBI は、2021 年の欧州全体の自転車及び電動自転車の生産台数を 2020 年と比較して約 10% 増の 1,600 万台強に相当する成長と見込んでいる。自転車部品とアクセサリ関連の生産も増加しており、金額ベースで、2020 年の 30 億ユーロに対し、2021 年は 20% 増の 36 億ユーロに達している。

これについて CONEBI の代表者は、「海外へ移した生産拠点を国内へ戻すというリショアリングが起こっており、よく知られているサプライチェーンの混乱が、欧州で工業化の新しい波を引き起こしている。これは時間がかかるプロセスではあるが、欧州の産業エコシステムが、長期的かつ持続的に成長するためのユニークな機会を表している。自転車部品の製造から始まる、より多くの現地生産と消費者との近接性は、こうした転換には不可欠である」と解説している。

2021年の欧州自転車産業全体における総投資額は、17億5,000万ユーロを超える水準に達しており、2020年の15億ユーロと比較して17%増加している。

自転車や部品製造に関連する直接雇用は、2020年の77,500人以上から2021年には約87,000人に増加しており、間接雇用も合わせるとその合計は約170,000人と推定している。さらに、2020年に欧州に存在した1,000以上の自転車関連中小企業については2021年に5~10%の成長が推定されている。

CONEBIの担当者は「グリーン雇用創出、持続可能な地元製造業、起業家精神と投資、イノベーション、環境に与える負荷を表すフットプリントの面で、我々自転車産業界が欧州連合の目標に具体的に貢献し、自転車業界を欧州連合のグリーン経済の中で最大のものに行っていることを嬉しく思う」と述べている。

以 上

出所：欧州自転車産業連盟